

自転車に関する計画・データの概要





- 国際連合欧州経済委員会(UNECE)は、国、地域、市町村などが適用可能な自転車道ネットワーク指定を支援するガイド「Guide for designating cycle route networks」を2025年6月に公表
- 本ガイドでは、自転車ネットワークを設計するための手順の中で、自転車ネットワークの構造や各施策との連携方法、通行空間の形態の考え方などを体系的に整理



「Guide for designating cycle route networks」

(2025、UNECE(国際連合欧州経済委員会))

自転車ネットワークを設計するための手順や考え方等を示した行政機関の担当者向けのガイドを、UNECEにおいて公表

【自転車ネットワーク設計の手順】

1 検討の開始（非公式）

2 サービスレベル・接続ポイント等の検討

3 利用可能なルートの検討

4 整備形態等の検討

5 ネットワークの決定

6 公式な検討会の設置

7 ネットワークの事業計画の検討

8 ネットワークの事業化

9 ネットワークの管理・評価

○ネットワークのサービスレベルの設定

ユーザーの分類や自転車交通量を踏まえ、自転車ネットワークの目標サービスレベル（①～③）を設定

- ① basic cycle route
- ② main cycle route
- ③ cycle highway

（自転車ネットワークの目標サービスレベル）

	1日の自転車交通量		
ユーザーの分類	～750人	500～3000人	2000人～
A 優れたサイクリング技術等を持つ	①	①	②
B 安全に自転車に乗りたい（子供連れ、初心者、高齢者等）	①	②	③
C 障害や使用自転車の追加ニーズあり	②	③	③

○接続する目的地やポイントの設定

- ・日常（通勤、通学等）の主要な拠点、主要な観光地、結節点 等
- ・通勤者向けのルート、レジャーや観光客向けのルート 等

○目的地やポイントに接続する道路等の検討

- ・自動車の交通量や速度、自転車の移動経路等を把握
- ・道路のほか、川や廃線跡等も対象

○自転車通行空間の整備形態の選定

- ・自動車の交通量や速度より、サービスレベルに応じた形態を選定

○自転車通行空間の仕様の設定

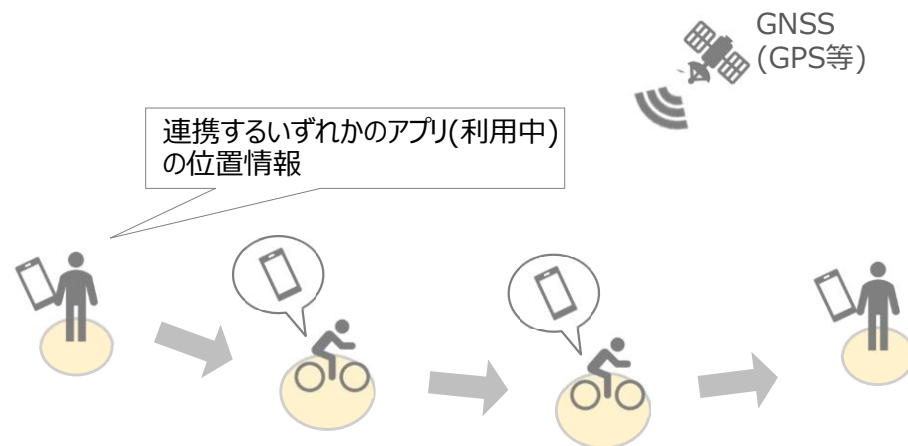
- ・サービスレベルに応じた品質要件（構造、設計速度、路面性状等）、交差点、直進性、勾配 等

自転車プローブデータの概要



スマホアプリのGPSデータ

データ分析会社等が連携する多数のアプリから、位置情報機能を利用中の端末の位置情報を取得したデータ
アプリを利用している間のみ位置情報を取得していることが多い



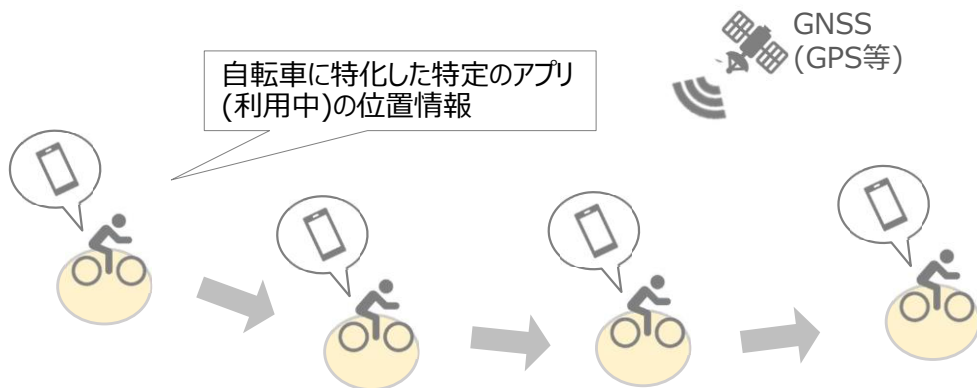
基地局データ+GPS

基地局データは、端末が接続している基地局の通信カバー範囲をもとに、端末の位置を推定したデータ
基地局データ+GPSは、アプリから取得したGPSの位置情報に対し、よりサンプル数の大きい基地局データを用いて拡大推計を行ったもの



自転車に特化したアプリのGPSデータ

自転車利用の記録やナビゲーションを目的とした特定のアプリから、主に自転車利用中の端末の位置情報を取得したデータ



シェアサイクル利用データ

シェアサイクル利用中の位置情報を取得したデータや、ポート間OD(起終点)データ

